音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会 議 名	令和６年度第３回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和７年１月１５日（水）　午後６時３０分から７時４５分まで
開催場所	音更町役場庁舎３階　３０１・３０２会議室
委　　員 出 席 者	吉田委員長、作田委員長職務代理者、内形委員、木野村委員、島田委員、杉山委員、高橋委員、中村委員、森田委員
オブザーバ 出 席 者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長　石山氏
町　　側 出 席 者	深谷企画財政部長、大井企画課長、川村企画調整係長、石川企画調整係主事 定村子ども福祉課長、河原子ども福祉係長、佐藤保育支援係長、藤原健康推進課長、佐藤保健担当課長、野中おやこ保健係長、高野建築住宅課長、樋田住宅担当課長
傍聴者	なし
議題・諮問 内容	１　開会 ２　委員長あいさつ ３　議件 第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について ４　その他
会議資料	・令和６年度第３回音更町総合計画推進委員会議案 ・資料１－１　空き家の現状について ・資料１－２　空き家購入に対する補助金の交付（音更町空家活用定住促進事業補助金） ・資料１－３　老朽危険空き家の解体費に対する補助金の交付（音更町老朽危険空家等除却事業補助金） ・資料２－１　母子保健の充実に向けた取組について ・資料２－２　音更町における「妊娠期から子育て期にわたる」切れ目ない支援体制 ・資料３　一時保育事業について
会議結果	３　議件 第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について 推進管理調書と資料１から３に基づき検証が行われ、次の項目のとおり意見等が出された。 ４　その他 次回の会議を令和７年１月２９日（水）に開催することが決定した。
出された 主な意見等	３　議件 第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について 【基本目標２－（５）空き地、空き家の有効活用】 ○　町のホームページなどで空き地や空き家物件が掲載されているが、その他にも年度末のような人事異動が多くなる時期の前に全国的に転勤のある企業等に対して物件情報や補助事業の周知があると道外から引っ越してくる人にとっても参考になるのではないか。 ○　最近は新築物件の価格が４，０００万円を超えるため、中古物件の購入に移行している認識である。 空家活用定住促進事業は非常に良い制度と思うが、中古物件へ移るに当たって、引っ越しの費用も膨大にかかってくることから、そういった手当があるとより使いやすいのではないか。

	○　音更町は幸い住環境や商業施設などにも恵まれており、音更町を含む帯広圏１市３町は、民間取引での空き家等の流通が比較的順調に進んでおり、そのことが空き地・空き家バンクの登録件数の減にもつながっていることから、これらの件数が少ないことを否定的に捉える必要はないのでは。 ○　老朽危険空家等除却事業補助金について、最近の住宅の解体費用が１００～２００万、アスベストが入ってくると３００万といった情勢を踏まえると多少、補助の上限を引き上げていくのも必要ではないか。 ○　特定空家等に認定されている空家等のうち除却済みではないものが現在４件あり、毎年町の職員が目視を行っており、今すぐに倒壊するものはないとのことだが、第３者に危害が及ぶような状況になる前に除却してもらえるよう引き続き所有者への指導を継続していただきたい。 【基本目標３－（４）母子保健の充実】 ○　乳幼児検診の未受診の理由のほとんどが保護者側によるものと理由が明確になっており、その後も個別訪問により状況の把握ができているため、現状の乳幼児健診の受診率の数値に、個別に対応された分も反映しても良いのではないか。 ○　保護者から健診の時間帯についての声が多く聞こえてくる。健診を行う先生の都合上、どうしても健診は病院が休診となる午後の時間帯になっている状況と考えるが、その旨の事情説明があると保護者も納得するのではないか。 ○　町外の人からも音更の事業は丁寧に見てもらえるとすごく評価が高い。 【基本目標３－（６）保育サービスの充実】 ○　１歳児からだと一時的に子どもを預けられる施設があるが、０歳児はそういった施設がなく、近くに親族がいないと、具合が悪くても自分が子どもを見なくてはいけないという保護者もいる。 　新たな施設整備の問題もあると思うが、生後６か月以降のお子さんも一時保育が利用できるよう検討していただきたい。 ○　既に園児の登園管理や保護者との連絡にタブレットを使用しているが、保育士の負担軽減や保護者の利便性向上の観点から引き続きＩＣＴを活用していただきたい。 ○　月１回土曜日に開放している子育て支援センターが１か所あるが、その他のセンターでも土曜日の利用に関するニーズがあるため、同様に実施できないか、支援センターと協議していただきたい。